

次期総合計画タウンミーティング（中区）

1. 日 時 : 平成 30 年 11 月 2 日（金） 18 : 30～20 : 25
2. 場 所 : 中区役所ホール
3. 出席者 : 河村市長、竹内中区長、総務局松雄企画調整監、総務局難波企画部長、
総務局鈴木企画課長
4. コーディネーター : 池田 哲也氏（（一社）地域問題研究所主任研究員）
5. 参加者 : 120 名
6. プログラム
 - (1) 開会
 - (2) 市長あいさつ
 - (3) 名古屋市次期総合計画中間案の説明（映像）
 - (4) ご意見・ご提案の聴取
 - (5) 閉会

7. 発言の記録

○市長あいさつ

【市長】

- ・はい、すみません。夜分といたしますか、おいでいただきましてありがとうございます。
- ・これ、中間案ということでございますので、せっかくおいでいただきましたんで、ぜひご自由に、こんなこと言っていかなかなというふうに思わずにご発言をいただければありがたいと思います。
- ・それから、冒頭に、瑞穂区長が不祥事がございまして、大変皆さんに。区長さんというのは、今横におりますけど、名士というか、皆さん信頼がある方でございますけど、あのような結果になりまして本当に申し訳なかったと思っております。
- ・中区でございますので、中区はやっぱり何ととっても中区で真ん中にあるところで、小さいときの思い出が、昔はデパートの屋上で遊びに来ましたもんですからね、死んだおやじやおふくろと一緒にということで、思い出のいっぱい詰まったところでございます。ぜひこれを大いに盛り上げないかんということでございますが。
- ・最近、聞くとところによりますと、住んどう方の 1 割以上が外国人の方だということで、それはナンバーワンらしいですね、これ。そういうことでございますので、それはそれで外国人の皆さんにも住んでええなど、中区はと、思っていたかかないかんもんで、精いっぱいやりたいなと思っております。
- ・そんなことございまして、ようおいでいただきまして、サンキューベリーマッチ。

○ご意見・ご提案の聴取

【コーディネーター】

- ・本日のコーディネーターを務めさせていただきます地域問題研究所の池田と申します。どうぞよろしく願いいたします。

- ・では、早速ではございますが、今映像でもごらんいただきました名古屋市次期総合計画中間案について、皆様からさまざまなご意見、ご提案をこれからいただこうと思います。おおむね 20 時 15 分ぐらいまで、先ほどご案内もありましたね、約 80 分。少しテーマを区切りながら、皆さんと一緒にさまざまな視点でご意見を伺っていこうと思います。よろしくお願いいたします。
- ・皆さん、お手元に配られました「NAGOYA をつくろう！」というのをご準備いただきたいんですけども、こちらの 5 ページ、6 ページ、左上に「長期的展望に立ったまちづくり」ということで、黄色い枠で 5 つの都市像が示されております。この都市像に基づきながら、皆さんにいろいろご意見を伺っていこうと思います。
- ・まずは、最初の左ページ、都市像 1、都市像 2 をテーマとしまして数名の方からご意見を伺いまして、その後、まとめて市からコメントをいただこうと思います。同様の流れで、3 つ目のパートに区切りまして、第 2 ラウンドは都市像の 3 と 4、右ページですね。それから、第 3 ラウンドは都市像の 5、あるいは総合計画全般ということで、そういった形で区切りながらご意見を伺っていこうと思います。
- ・進め方について、皆さんにお願いしたいことがございます。
- ・まずは、ご発言いただくときに、挙手をお願いいたします。そうしましたら、私が指名させていただきますして、係の者がマイクをお持ちしますので、周りの方にもはっきり聞き取れるようにゆっくり大きな声でご発言をお願いできればと思います。
- ・上から 2 つ目、ご発言のときには、お名前とお住まいをおっしゃっていただいてからご発言をお願いしたいと思います。
- ・3 番目、ご発言が終わりましたら、マイクを係の者へお返してください。
- ・4 番目、なかなか一言でというのは難しいと思いますが、本日いろんな方にお越しいただいています。できるだけさまざまな方からご意見をいただきたいと思いますので、大変恐縮ですが、お一人大体目安として 3 分以内ぐらいで手短にご発言いただけますとより大勢の方にご発言いただけるとと思いますので、その点だけご協力をお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。
- ・まず、開いていただいています左ページ、都市像 1「人権が尊重され、誰もがいきいきと暮らし、活躍できるまち」、その下の都市像 2「安心して子育てができ、子どもや若者が豊かに育つまち」、この 2 点についてまずはご意見を伺っていこうと思います。
- ・ご意見、ご提案がある方は、挙手をお願いいたします。
- ・お一人、後ろの方、お願いいたします。

【1 人目（中区）】

- ・座ったままで失礼させていただきます。
- ・ふだんは私、今、中区社協でやっております地域福祉活動計画の策定に、もう来年 4 月から 4 次計画が始まるわけですけども、その策定部会にかかわりを持っています。それから、現在進行中の 3 次計画、過去の 2 次計画、1 次計画にも、通算 15 年ほど地域福祉という観点から計画の策定、推進にかかわりを持たせていただいております。途中、名古屋市と市社協の合同での計画策定委員会も市のほうで、地域ケア推進課が事務局になっておやりになったんですが、2 回ほどその推進委員としてもかかわりを持たせてい

いただきました。

- そこで、地域にはそれぞれ地域の事情がありますので、地域福祉という観点から取り組んでいるわけですけれども、名古屋市が今度の計画で、言うなれば、私どもの地域福祉活動計画がアリの目の計画とすれば、名古屋市の全体的なものは鳥の目だと思うんですよ。名古屋市全体 16 区をどうしていくのという、発展させるためにどうするのということ、大変貴重な大事な計画だと思って期待しております。期待するだけじゃなくて、今日参加させていただいたのも、この中間報告ではどういう計画が出るのかということで興味を持って参加しました。
- まず、都市像 1 の。これは、もうこういう時代ですから、地域住民が人権意識を、人権ということがもうわかるという、当たり前のことだという。とはいっても、やはり世の中いろんな差別があったり、過去のおぞましい歴史の中でそういう差別意識がまだ払拭できていないと思います。これはやはり日常の中で、払拭した住みやすい。また、外国の方も、本当に人種差別とかななくて、東南アジアの方もヨーロッパ系の方も開発途上国の方もやはり名古屋と一緒に住めたらいい、そういうまちにすることは大賛成でございます。
- 都市像 2 ですが、今データにもあるように、年配の方が増えて子どもがだんだん減ってくるという時代ですが、私もそういう認識を持っていました。ところが、近くの東別院という大谷派のお寺では、毎月月末に市をやっているんですね。お寺というのはお年寄りの行くところだという認識がありましたが、あの市のときに本当に若いお母さんが子どもを前に抱っこして、どっから出てきたのというぐらい若いお母ちゃんたちが市に来ているんですね。これだけのお母ちゃんがお寺の行事に、市に来ているんだというね。
- そういう意味で、名古屋市も、市長がご努力されたこともあるんでしょうけれども、保育園対策とか、そういう手は着々と打ってこられたことだと思います。それはまだまだ完全なものではない、これから。恐らく保育園では、どこの市でもそうですが、3 歳児未満の、0-3 歳の受け皿のところ、ところが常に問題になってくる。こういう時代ですから赤ちゃんを預けるじいちゃんばあちゃんもいないわけですから、そういう施設に預けて、若いお母さん方が収入を得るといふ目的もありますけれども、社会参加をしていくという。そういう意味で、若い家庭が増えていくのは大事だと思います。
- そのために大事なことは、そういう若い、お母さんが若いということはお父ちゃんも若いわけですね。当然……。

【コーディネーター】

- 1 人目の方、もしご質問があったら、端的に最後。ごめんなさい。

【1 人目】

- わかりました。
- 具体的に、若い人の住む町をつくるために、例えば住宅の問題は僕は重要だと思いますので、住宅の問題はどのように位置づけていらっしゃるのかご説明いただけたらありがたいなと思っています。

- ・長くなりまして、申しわけありません。

【コーディネーター】

- ・いえいえ、こちらこそ、せかして申しわけございません。ありがとうございます。
- ・1人目の方、今の一番最後のところがご質問でしょうかね。若い世代の住まい、住む受け皿づくりについてのご意見、ご質問でございました。また後でまとめてご回答いただくと思います。
- ・全く別の観点でも結構です。ほかの方、いかがでしょうか。
- ・前の方、お一人手を挙げていただきました。マイクをお願いいたします。前から3列目の方です。

【2人目（中区）】

- ・私は、今日志段味古墳群というのを見学してきましたんですけど、名古屋に住んで一番うれしいと思っているのは、敬老パスを使っているいろんなところへ出かけられるということで、これは本当に、市長さんに、ずっと値上げせずにとにかく継続していただいて感謝しております。
- ・あわせて、鶴舞からJRで大曾根へ行きました。私はたまたまmanaca（マナカ）に積んであったのですと行けましたけど、そうでない人は「あっ、切符買わなくちゃ」というので、もしJRとか、市内を移動するのに拡大していただけたら本当に年寄りには便利な敬老パス、交通手段になるなどと思って、それ1つお願いです。
- ・2つ目には、公共施設の老朽化ということで、小学校の統合計画というのを前にちょっと参加して聞きました。まだ具体的になっているわけじゃないけど、とにかく将来的には学校を縮小。私は縮小というふうに捉えてしまって、大規模化するというふうには私自身は感じてしまったんですけど、子どもたちの教育の中身も何か大変だなと思うし、大規模化は私はあんまり賛成じゃない。
- ・何よりも、学校が少なくなるというのは、災害が本当に今年も続きましたけれど、そういう状況の中であって、避難場所とかもどんどん減っていくわけだし、その代替はどうなのかってそのときちょっと質問もしたと思うんですが、まだそういう具体的なことは進んでいないという話でしたので、その辺の、学校の統合というのはあまり進めてほしくないなと思っていることと、あわせて、子どものことに絡んで。
- ・皆さんもご存じだと思うんですけど、今全国的に子ども食堂というのが非常に増えていっています。名古屋市内どれだけあるのか私もはっきりしませんが、子どもたちや地域の人に非常に歓迎されていると。しかし、よく見てみますと月1回とか本当に、人間は普通の人は1日3回食事していますけれど、その子どもたちが楽しい思いをしているのは本当に数少ない状況なんですね。夏休みが終わると2キロも痩せてしまう子どもが出てくると。何でといたら、家庭の状況が非常に厳しくて、お母さんお父さん働いたりとか何とかであまりご飯をつくってもらえないと、経済的にも厳しいと、給食がないと痩せちゃうということだって。それ、いつの時代の話と思うようなことが今現在あるということなんですね。
- ・最近、私聞き逃したんですけど、CBCラジオでそのことが放送されたということを知っていて

います。だから、そういう子どもたちが、未来の宝である子どもたちが健やかに育っていくために、ぜひとも市長さんには決断していただきたいんですが、子どもの学校給食、何とか無償化に力を注いでほしいと心から希望いたします。

・以上です。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございます。
- ・ちょっと整理しておきましょう。2人目の方、今3点いただきましたかね。
- ・敬老パス、より使いやすく、拡大してほしいという話。2つ目、教育環境の充実、避難場所の話、その2つが小学校の統廃合に絡んでありました。最後は、学校給食の話でしょうかね。子ども食堂の話もありましたが、そのあたりのこともぜひ考え方を教えてほしいと、そんなところでございましたでしょうか。
- ・3分で手短にというのはなかなか難しいですね。もうちょっとだけ短目にしていただくと助かります。よりたくさんの方が発言できますのでね。すみません。
- ・どうでしょうか、次の方がいかがでしょうか。もう1人、もう2人ぐらいいらっしゃるかな。いかがですか。
- ・先ほどご発言いただいた方の前の方、お願いいたします。

【3人目（中区）】

- ・私は、高齢者のことについてちょっとお話しさせていただきたいんですが。
- ・よく認知症カフェとかサロンとか、それからコミセンなんかのことを聞くことがあるんですが、中区栄二丁目のあたり、栄学区にはコミセンというのがあるのかどうかお聞きしたいんですが。コミセンというか、もし身近なところであれば、通いやすい近くのところでお年寄りが集まってお話とか体操ですとか、短い時間かもしれませんが、いつときを楽しく安全に暮らせる場所があればいいなと思いますし、もしあるのでしたらお聞かせ願いたいと思います。
- ・以上でございます。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございます。
- ・これも後ほどお答えいただきたいと思います。
- ・どうでしょうか、もうお一人ぐらいもしいらっしゃれば、お受けできると思いますが。
- ・前の方、マイクをお持ちください。

【4人目（中区）】

- ・私の子どもが行っていた保育園が移動して今金山にあるんですけど、その金山の保育園が使っている古沢公園がなくなるという話があって。市民会館を壊すので、公園のところに市民会館をつくって、公園はなくなってしまうとかいうのがあって、今お母さん、かわらまち保育園というんですけど、親たちが大変ということで1万人ぐらい署名を集めたんですけど、それはずっと問題が続いてて、結論というのか、今どんなふうに進

んで、どうなる予定なのかお尋ねしたいと思います。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございます。
- ・4点目は、かわらまち保育園のそばの公園について、今の検討状況を教えてくださいということでしょうかね。
- ・一旦、ここでまずは都市像 1、2 について区切らせていただこうと思います。
- ・市長、大体全体の質問はよろしいでしょうか。改めて確認は。
- ・お願いいたします。

【市長】

- ・ありがとうございます。
- ・まず、1人目の方ですが、若い人の住宅はどうだというんですけど、これ、正直言って別に。市営住宅なんかはきちっとしとりますけど、別にとりたててそういう政策はしとらんと思いますけどね、正直言いまして。
- ・ただ、名古屋の場合は経済力に比べて東京なんかと、同規模からすると2分の1から3分の1ぐらいで不動産価格が済んどるということになりますと、当然家賃も安くなりますんで、ちいとええ思いしてもらっとるんじゃないかということで、大体そんなとこだな。
- ・しかし、経済力が強いということは、実は家賃も払えることになりますんでね、これ。失業しないということになりますんで。そういうことでは、相当努力しとるんではないかということでございます。
- ・本当は減税もできないんですよ、これ本当に。日本中で名古屋だけですけど。1世帯当たり毎年1万円大体減税されてますけど、こんなところは日本中にはありませんということですよ。
- ・2人目の方の敬老パスについては、値上げはしませんので、いろいろあっちやこっち行って元気にやってもらいたいということでございます。
- ・JR、私鉄は、これ大きな課題ですけど。ここまで来ると、それもええんだけど、例えば妊婦の人とか。何で年配の方ばっかこうもええんだということも若干あり得るのではないかなと僕は思っておりますけど。ただ、大きな課題だもんで、それならそれで1つの方法かなと。
- ・だけど、これはこれで1つの欠点は、どうしても地下鉄だとか JR、とにかく乗り場が近いとこの人はどえらい有利なんです、これ。そのかわり、守山、南区、この辺の人らはやっぱりどっちかいうと不公平だという声は強いですわな、これ。そういうことを考えないかんとということでございます。
- ・小学校の統合をあんまり進めるなということでございますけど、当局に言わせると、ずーっと1クラスで1年から6年まで全部行っていくのはあんまりよくないということで、そう言ってますわね、適正の規模が1つ要ると。クラスが変わったほうがええということですよ、ある程度。
- ・ですけど、小学校であったようなところを、単純なマンションにせんよんということはおもしろいと言っております。せつかく公共に使ったんで、みんなのために活かせる

るようにせなかんわなということは言っておりますが、頭に入れときます。

- ・給食の無料化はですね、無料化と子ども食堂と言いますが、今も年収ね、ちょっと世帯によって違いますけど、300万か、いろんなパターンがありますけどね、全部ちょっと覚えとれんでいかんけど、その辺までは無料なんですわ、これ実は。本当にただにしてしまうと、例えば年収1,000万あるようなところもただになってしまいます、これ。だで、これは考えようですけど、一定の所得がある人は負担をいただくほうがええんでないかと思えますけどね。300万。一遍、また連絡をいただきゃあきちつと言いますが。意外とまあまあなところまでただなんだ、これ。
- ・子ども食堂やってますけど、これなかなか。みんな努力を大変してますけど、今言われたように月に一遍とか週に1回とかになっちゃって、みんな苦労されとるけど、本当は小学校の給食でやりゃあええんですよ、これ場を使って、本当に。ものすごいじゃないですか、これ。だけど、それがいかんいうことで。
- ・一遍わし文部科学省にも電話かけたことあるけど、いろんなまあごちゃごちゃごちゃごちゃ言ってましたわ、これ。検便して入らないかんとかね。何じゃて、扉が開いとるがやって、窓も、ってというようなことで。学校施設というのが、人に言わせれば日本最大の隠し財産であるという説も大変有力でございますので。こういうこと言うと疲れまますけど、わしはつくづく感じとる次第でございます。
- ・栄二丁目にコミセンがあるのかいうのは、区長答えないかんがや、あんた。後でしゃべるかね。
- ・あるかないかどういふふうか知りませんが、しかし、まあちょっといろいろ使ってもらえるような宣伝も要るわね、確かに。一部言うと怒られるけど、区政でみんな骨折ってみえる方はよう知つとるもんで、大体コミセンの運営は、学区連協と言いますが、そういう方でやっていただいとるもんでそういう人はよう使うけど、意外とまだ知られとらんのではないかと思えますね、これは。これは大区長にあと話をいただきたい。
- ・金山のあそこのところですね、公園をどうするかと。これは、一応役所が言うには、あそこの市民会館、あそこがそろそろ寿命が来とると、建てかえないかんでどうするだという話で、そのためにあそこを一遍使うようにさせてもらえんかと。古沢公園ということですが、まだ一応これだというふうに決まっとらんはずですが、これは。だけど、そういう案があるということは事実ですけど。
- ・そもそも、市民会館の建てかえは必要になるかわからんけど、あそこにつくりかえないかんかどうかというそもそもの議論はあるということで、これはあんたらの偉い様に一遍しゃべってもらおうかね、これは。
- ・ということで、区長にかわります。

【区長】

- ・栄学区にコミュニティセンターがあるかどうかというご質問でしたけれども、ナディアパークの（地下）1階にコミュニティセンターに準ずる準コミュニティセンターというものがございます。管理人さんが常駐じゃなくて、使いたい場合は地域の役員さんに連絡をしていただいて使ってもらえるというふうになっていまして、料金もコミセン並みでやっていると思えますので、使えると思えますのでお願いします。

【市長】

- ・年寄りが集まってそういうことに使えるの。認知症のあれ。

【区長】

- ・使えます。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございます。

【企画調整監】

- ・1人目の方、福祉の関係で貴重なご助言をいつもいただいておりますこと、この場をおかりして厚くお礼申し上げたいと思います。
- ・ファミリー層の関係につきましては、市長が答えさせていただきましたけれども、中間層の家族の方が入りやすいような住宅の誘導ということはいたしておりますので、地価の問題もありますので、名古屋市といたしましても、できるだけやっぱり若い方々が入居いただくような形の施策をしていきたいと考えております。

【市長】

- ・やっとなるか。

【企画調整監】

- ・やっています。

【市長】

- ・市営住宅はある。

【企画調整監】

- ・市営住宅はありますけど。

【市長】

- ・ほかにも誘導しとるの。

【企画調整監】

- ・誘導してます。中間ファミリー層のそういうのがありますので、そういうことをやらせてもらっています。
- ・敬老パスのことにつきましては、市長からも、くれぐれもやっぱり市民の皆さんがさらに使いやすいような形をしろというふうに宿題もいただいておりますし、議会からかなり要望もいただいておりますので。今幸い、ICカード化にしましたので、どのような使い方ができるのか、利用実態が非常にわかりやすくなりましたので、そうしたこ

とを分析しながら、市民の皆様は今アンケートも実施しようとしておりますので、そうしたことも含めながら、どういうふうにするかといったことを、結論を出していきたいと考えております。

- ・金山につきましては、市長申し上げましたとおり、確かに構想がございます。金山のまちをどうするかといった構想がございます。市民会館につきましては、ご指摘をいただきましたように、公園のところに移しましてそこで建てかえという構想がありますけれども、これはまだ構想の段階だもんですから、これからどうするのかと、市民会館の移転も含めてしっかり議論をして、市長と一緒に結論を出していきたいと、今こういう段階だと認識いたしております。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございます。
- ・特にあれですね、保育園の子どもたちの貴重な遊び場になっているということなんでしょうね。保護者の方の心配もよくおわかりになります。
- ・それでは、第2ラウンドに進めさせていただこうと思います。
- ・皆さん、お手元の資料ですと右ページの上2つになります。都市像3「人が支え合い、災害に強く安心・安全に暮らせるまち」ということで、ここは消防、救急あるいは地域防災、そういったテーマになろうかと思います。それから、都市像4「快適な都市環境と自然が調和したまち」ということで、ここにつきましては環境とか、あるいはリサイクルとか低炭素といったキーワードが先ほども示されていたかと思います。
- ・今度はこの2つをテーマとしまして、また皆さんから率直にご意見、ご提案をいただきたいと思います。
- ・お願いいたします。

【5人目（南区）】

- ・先ほども紀伊半島を震源とする震度4の地震がございましたが、災害、環境について提案いたします。
- ・例えば、地下街、地下鉄などで災害が起きたとき、地上の空き地は大事ではないでしょうか。三越の北に空き地があります。コンサートとか待ち合わせとか、さまざまな活用がなされる空き地が松坂屋になると聞きました。建物が建ってしまったとき、どうなるのでしょうか。企業ばかりが名古屋市とタイアップして考えるより、私たち市民が安全である。火災の延焼を防いだり、災害では空き地が大事です。都市計画では空き地がもう少ないほうです。何もない空き地というのは大事にしてほしいです。
- ・それから、知事公舎から市役所の北に向かって橋を渡っていきますと、月に1回ほど通りますと、春、夏、秋と少しも草引きなどがなされておられません。観光、観光と言いますが、これは玄関の横の道ではないでしょうか。そういうところが、例えば夜でしたら草木も眠る丑三つ時のようなぼうぼうとした状態、それでにぎわいにぎわいと言うのは、私はおかしいと思います。メンテナンスが大事で、メンテナンスにお金をかけていないと思います。
- ・それから、久屋大通公園がなくなると聞きましたが、やっぱり景観、住んでいるところ

の景観、空の広さとかもそこに住んでいる人の財産です。住んでいる人のご意見はいかがでしょうか。周りの人が賛成されたのでしょうか。大変心配です。空の広さは名古屋の失ってはいけないものです。どこのまちにでもあるような巨大な摩天楼が名古屋にならないように私は希望いたします。

- ・また、名古屋に来て「不案内だね、連絡がよくわからない」と友人がこぼしました。昔は、ここの近くにもありますが案内所があって、「そこへ行きたいならこうですよ」と、その案内所で親切に教えてくれましたが、それも廃止されています。
- ・私は南区ですので、みんなが元気で、それから高齢ドライバーが返上できるような、バスなどが便利であることを希望いたします。ところが、バスターミナルも変わる、そこへ箱物をつくられたりすると何にもなりません。案内所も要りますし、バスでみんなが便利で出かけられるように、せめて1時間に2本のバスは欲しいです。
- ・名古屋市政は、今も行政の担当の方がいっぱいいらっしゃるようですが、にぎわいをつくる、観光でもうけるじゃなくて、住んでいる人の困ったことを解決する、住んでいる人が笑顔になる、そこに未来があると思います。その人たちが困っていること、食べ物にしろ、住まいにしろ、交通にしろ、そういうことを1つ1つきちんと解決してください。それが、人が行きたくなるような北欧。北欧の人たちがのんびりと公園で、緑豊かで、長く育った木を切り倒してしまわないで、幸せにそこでおしゃべりをする。何もない、何もしない幸せ。わあわあわあわあ食べ歩きをする、それは幸せの1つであって、毎日がお祭りではありません。私たち市民が幸せに暮らせるということを市がしっかりと考えていただくことが未来につながると思います。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございます。
- ・一番最後のところが強調したいところだったでしょうかね。交通の問題、案内の不案内のところ、景観の問題、あるいは玄関口の雑草の問題とか災害時の空き地の確保という話もありましたが、一番最後のところに集約されているような感じがいたします。
- ・もう一方いかがでしょうか。
- ・先ほどご発言いただいた方はまた後で。すみません。
- ・新しい方にぜひご発言いただこうと思います。真ん中にお座りの方。
- ・お隣の方、次にお当ていたしますので。申しわけございません。
- ・お願いいたします。

【6人目（西区）】

- ・最近名城公園のところにカフェエリアができて非常ににぎわってて、公園に来る人も増えたということは非常にいいと思います。
- ・ただ、お城の近くの樹木が、剪定が年に1回ぐらいで、観光に来られた方が少し違和感があるかなと。1年ぐらい前に神戸に行ったんですけど、神戸はそういうことをうたっている都市だと思うんですけど、ほとんど草も生えていなくて、花がそこらじゅうに植えてあって、やっぱり観光客が来て非常に気持ちがいい感じだったので、名古屋はそういう面で樹木のメンテナンスが悪いかなと。

- ・道路って市が管理したり国が管理したりしているので、全てが市ではないと思うんですけど、国と県と連携をとって、なるべく市内の樹木の剪定、草がないように。草が生えたりすると空き缶を捨てたりもしますので、そういうところに非常に気を使っていたきたい。
- ・もう1点。すみません、長くなりまして。
- ・官庁街ですね、非常にカラスが多い。非常に細かい話ですみませんけども、今日もたまたま官庁街の歩道を歩いていたら、カラスのふんだらけです。通勤で通ってみえる方も、恐らく夜帰るとカラスのふんが落ちたりするので、名古屋城にも近いので、やっぱりカラス。恐らく栄とかあの辺のごみがちゃんと処理していなくて、栄で食事して官庁街で寝るという習性がついているかもしれないんですけど、非常に多いです。ですから、なかなか難しい課題だと思うんですけども、やっぱりカラスの対策は何かしていただきたいと思います。
- ・以上です。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございます。
- ・今2点いただきました。
- ・こちらの方から。

【7人目（中区）】

- ・こんばんは。よろしくお願ひいたします。
- ・今日は、災害時における消防団のあり方ということで、ご提案といたしましうかお話をさせていただきます。
- ・ご存じのように、消防団というのは、高齢化、サラリーマン化ということで、どこも欠員状態が多いです。私どもの消防団も、定員25名のところ20名です。東日本とか神戸の震災なんか見ていると、揺すって消防団員が集まるのが大体3割ぐらい、あと3割が直接現地に向かうということで、6割ぐらいしか動かないんですね。あとは、東日本のときには、我々の同胞256名が命を落としております。消防団としては大変な大きな使命があるとは思っておるんですが。
- ・当名古屋市においては、今は消防団と消防署の連携を進めてみえます。これは非常にごもっともでよろしいんですけども、今申し上げましたように、消防団そのものが欠員状態で20名の隊員しかいないところで、地震が揺すって大体詰所に入れるのが3割、30%しか入れません。ですから、6人しか集まらないことになるんですね。その6名でポンプを担ぎ出したりチェーンソーを出したりするということは、団長は詰所に詰めなきゃいけないし、副団長もそうですね、2人は入らなきゃいけない。そうすると、4人か5人でポンプ、チェーンソーで人の命を助けたり火を消したりしていくわけですね。そうすると、もう人員的に非常にこれは無理があります。
- ・私も消防団のホームページとか自治体のホームページをよく読むんですが、例えば大阪市のホームページには、消火活動に使うポンプの位置がホームページで掲載してあります。それから、ポンプが使えるようにホームページが工夫してあります。東京も、スタ

ンドパイプといいまして、地域の方が、消防団がいなくても火が消せるという状態に持っていこうとしております。

- ・私が言いたいのは、消防団を頼りにしてもらうことは非常にありがたいんですが、そうじゃなくて、地域の住民をもっと巻き込んで、いざというときに防災活動ができるように訓練も、消防団プラス地域住民もあわせて消防ポンプも動かせるように。けがしたらどうするんだとかいう話もあるでしょうけれども、そうじゃなくて、何かあった場合にはやっぱりそういった動きが必ず必要になってきます。
- ・我々消防団が今は非常に疲弊化して、高齢化でサラリーマン化しています。ですから、地域の住民を参加させた防災訓練が今後は絶対に必要になると思いますので、ひとつよろしく願いいたします。
- ・以上です。

【コーディネーター】

- ・どうもありがとうございます。
- ・もう一人ぐらい。
- ・お願いいたします。

【1人目】

- ・すみません、2度の登場で申しわけありません。
- ・これは重要な問題だと思いますのでお尋ねと、意見としてご要望として申し上げたいと思います。
- ・防災対策のところ、確かに名古屋市消防局の体制もしっかりしていますし、それなりの防災対策も打たれているとは思っているんですけども、防止策としてはいいと思います。
- ・それから、起きたときの、先ほどの都市像2とも関連するわけですけども、どなたかがおっしゃっていた小学校の統廃合の問題ですけど、人数が少ないからといって統合しないで。やはり学校というのは、小学校も中学校もそうですが、災害のときの避難所なんですよね。そうすると、遠いところに逃げていくことはできません。しかも、まち全体が高齢化すると、年寄りがそんな遠いところまで行くわけにいきません。教育の場でも、子どもたちが、小学校の低学年なんてまだ体力もないです。遠い小学校へ通わせるというのは、私は問題があると思います。そういう意味で、今のような学区にやはり基本的に置いていくということを再検討していただきたいなと思うわけです。
- ・それから、コミセンの問題をどなたかおっしゃっていましたが、例えば小学校、中学校とコミセンと、場合によったら保育園ですよね。市長が今、子ども青少年局も一生懸命取り組んでいらっしゃる保育所の増設も、そういうものも合築で考えていく。地域の中にコミセンもある、保育園もある、そういうものが集まるという。あるいは、今の方のご提案のように、消防器具が消防団でなくてもまちの人が使えるというものを計画の中にぜひ織り込んでいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

【コーディネーター】

- ・1人目の方、ありがとうございました。
- ・今は、身近な避難場所としての小学校のあり方、確保。それから合築、施設の複合化みたいなことを進めたらどうかというご提案も含めて、ご意見いただいたと思います。
- ・市長、よろしいでしょうか。

【市長】

- ・ありがとうございます。
- ・まず、5人目の方ですけど、空き地をまっと大事にしると。具体的に、例の栄の、25番街区と言うんですけど、三越の北側のところはどうかということですが。それから、久屋公園の話も出ましたけど、これはやっぱり大問題で、実は。やっぱり世界の目的地というような、そういう魅力のあるところをつくるべきなのかどうなのかと、特に栄の辺は。
- ・過去の都市計画がよかったかどうか、わしもあんまりそう思わんけど。100メートル道路とかどえりゃいもんつくってまったわけですわ、これ。ほんで、空き地があるわけ。だから空が広いわけ。そのままキープしてくのか、それともやっぱりちょっと待てよと、やっぱり都市の力ってそういつまでも続くわけじゃないからね、これ。
- ・リニア新幹線が大阪まで直通したときに、名古屋ノンストップになれせんかと。産業の力が落ちますとやっぱり福祉の力も一遍に落ちますから、これ。だから、そういう面で、都市の魅力というのはきちっとつくってかないかん。名古屋に来て1泊ぐらい楽しんでこうかと、文化・芸術というふうでもいいんじゃないですか、それは。そういうところとにかく栄の界限においてはつくるべきでないかということと、やっぱり相当分かれると思いますよ、これ。
- ・この本質論をやっぱりやらなかんということで、ちょっと5人目の方は気に入らんかもわからんけど、わしはどえりゃあおもしれえとこを栄なんかはね、ど真ん中のそういうところ、それから名古屋駅の近所とか熱田神宮とか南とか東山動物園とか大須だとか、ああいうところはそういうのつくらなかん。だで、自然とかそういうのを大事にするのは大事にするところでたくさん大事にしましょうというふうに思ったりまして。
- ・今日もそれで議論しとったんだけど、やっぱり世界的、今DESTINATIONって、英語を使やええいうわけじゃないけど、よう言うんですわ。目的地としての名古屋と。何かいったら、名古屋へ来て1泊ぐらいしてくいうことですわ。下呂温泉行ったり、伊勢神宮行ったり、加賀屋行ったりと、乗りかえ地だけではないようにすべきなのかどうかというのは大きな争点ですわ、これは。市民の皆さんの納得をもってまちづくりをやらなかんとは思ったります。
- ・名古屋は観光。観光と言うと、何となく観光より住みたいということで。これは確かにそうですけど。観光いうより、まちのプライドというかシンボルというのはやっぱりきちっと残さない。それも大変重要ですよというふうには思ったります。
- ・6人目の方、神戸に行くと花がいっぱいという話で。減税との関係で言う人がありますが、減税とは全然関係ないんです。減税した3倍ぐらい税収増えてますから。100億減税して、300億以上。全て減税のせいとは言いませんけど、こうなるんですよ、可処分所得増やしますから。だもんで、それと関係ないけど、確かにまあちょっといろんなまちのここかしこにだーっと花でも、きれいな植わっとなってですね、そういうふう

できんかというふうには思いますね、これ。せっかくの名古屋だでというふうに思いますんでということで、これが1つ。

- ・官庁街のカラスを何とかしろと。わしも、そのカラスあんまりそう見たことない。そうもおるきゃ、これ。おるかね。どうやって物にするだ、これ。あんたらが行って捕まえるか、これ。

【区長】

- ・有効な対策はないです。

【市長】

- ・有効な対策はないと。本当はないかどうかだけど。大体、ごみ置き場に来るときに、わなみたいにしてばかっとな網がかかるようにするとか。

【区長】

- ・そうですね。ごみを出さないとか。

【市長】

- ・ごみを出さんというか、それはまあ一遍ちょっと話してちょと。
- ・7人目の方の。これはなかなかちょっとわしからも言いにくいことですが、消防団どえりゃあ大事にしとりますんで、名古屋は。日本最大の消防団の応援もして、消防団の皆さんにも応援してもらっとるし、応援しとるわけです。ところが、年寄りになっててという話で、市民がやるようにせないかんじゃないかという話ですわね。
- ・確かに、スタンドパイプだと言うんだと思いますけど、消火栓の上に自分でばばっと組み立てて、すぐ消火できるような工夫なんかも。今度、瑞穂区の御劔学区だったと思いますが、違うかわかりませんが、その辺でももうやりかけますんでということですが、消防団は消防団でありがたいことだ。
- ・わしはほんだで、消火のこともありがたいし、救急車のこと関係ないかわからんけど、日本で一番はよう、119番して病院に救急車が着くのは実はこれ名古屋なんですよ。ものすごい立派なことですよ、誰も褒めてくれえせんけど。わしはどうでもいいんだけど、やっぱり消防がどえりゃあ頑張ったと。それから、病院がものすごい受け入れてくれるということもありまして。
- ・だけど、まあちょっと確かにね、学区も学区なんだけど、やっぱり町内単位ぐらいでいろんな防災をやるとみんな真剣になりますわね、これ。学区で今やっとするけど、学区は金持ちのとこといろんなとこで、ようけばらばらだもんでということも含めて。一遍、貴重なお話が、普通言いにくいんですわ、これ。ありましたんで、よう考えさせていただきます。
- ・1人目の方のあれですけど、小学校の統廃合は、さっきがた言いましたように、当局に言わせると人数が少ないという、1年から6年まで同じだでいかん言いますが、それが理由とは実は思えない。この教育の大改革をやってこうと思っておりますけど。
- ・今までの教育いうのは画一斉教育というやつですわね、先生が黒板の前に座ってずー

つと並ばせて言うこと聞けど、こういうやり方ですけども、最近はまだそういう個別的な、教室の中の勉強机を廃止したところもあって、みんなが集まって、学年かかわらず集まって、自分らでやっていくんですよ。そういうことによって子どもさんを伸ばしていくということなので、少人数だでということはある因果関係がそうないんじゃないかというふうに私も思いますわね。だけど、さっきが言ったように、なしにするにしても、やっぱりマンションにしてしまうのはあまりにも無策ですわね、これは。いうふうには思っています。

- ・コミセンとか保育園がみんな集まるようにしやええでないかというお話ですけど、実際そうですわ、本当に。皆さんいろんなところで集まるように。縦割りになってまっとならなくて、せっかくの設備がなかなか使われんという、ぎょうさんあるんですわ、そういうのが。特に教育施設。学校は実はものすごい安全なところですけど、事故もありましたけど、フェンスがありますんで。だから、そういうところなんかで、内部で保育園が何でできるのだと、これ。食堂もあるし、一番大きいのは保健室があるもん、これ中に。そうでしょう、けがしたときなんかもあるし、学校の中には兄ちゃん姉ちゃんもおるし、じいちゃんも来るようになりゃええじゃないかということがあってやっとならんですけど。これは10年言っとならねどね、これ。小学校の中で保育園やってちょいって。だけど、こんなもんですわ。
- ・何ぞねえかね、あんた何か言うことあれへん。

【企画部長】

- ・幾つかご質問いただきまして。
- ・実はカラスの問題というのは、都心部というところでいくとなかなか難しいのかなと思っております。ただ、カラスというのはごみ等に群がるということがございますので、これらについては、今のところ防鳥ネットなどを使用するなどの対策を講じていただくよう市民の方々にお願いをしているところでございます。カラスの被害防止対策につきましては、本市ウェブサイトや広報なごや等により周知、広報させていただいております。
- ・また、戸別収集ができないところについては、みずから対策をとることが困難な場合もありますので、こういう地域では防鳥ネットを支給するなどの対策はしております。都会のカラスを駆除するということはなかなか難しいことだと思いますので、今日貴重なご意見いただいたと理解しております。
- ・街路樹等の除草とか清掃の関係でございますが、今までの実績や他都市の維持管理レベルを参考にしても大変厳しい状況ではございますが、限られた予算の中で安全性の確保を重点に、現場の維持管理、対処や手法を工夫するなど、維持管理に努めてまいるのでございますので、ご理解いただきたいと思います。今日いただいた意見は、また参考にさせていただきたいと思います。
- ・防災の関係でございます。非常に示唆に富んだ話だったと思っております。消防団だけではなく、住民の方々もということでございます。ただ、消防団と同じことというのはなかなか難しいことではあるかと思いますが、今地域のほうでも地域の防災計画というものの、防災カルテをつくっているということでございます。こういうところに地域の

方々も参加していただいて、さらに訓練に多くの人々に参加していただくことによって地域全体の防災能力を高めていくと、そういうことをこれからも考えていくということをおっしゃるので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

・以上でございます。

【企画課長】

- ・道路と公園の除草の点がお指摘ありましたので、少し補足させていただきたいと思ひます。
- ・ご指摘のとおり、市民の皆様からは、公園の部分とか街路樹の部分ですとか、そういったところがなかなかうまく除草できていなかったりという、ごみが目立つというような、いろんなご要望は増加傾向に確かにありまして、お叱りをいただいたりする場合もござひます。そういった道路、公園の関係でいきますと、所管でいきますと緑政土木局というところがござひまして、各区に土木事務所がござひます。そちらを中心として、限られた予算の中で、委託業務も活用しながら道路、公園の清掃なり維持管理に努めておりますけれども、ご指摘いただいたように確かに若干そういった、厳しい状況にござひますので、清掃の頻度とか樹木の剪定の頻度ですとか、そういったところが行き届かない点があるのでそういったことにつながっているのかなと思ひます。
- ・道路も、市道の管理でいきますと当然市の道路ももちろんですけども、県道も含めて名古屋市の道路を道路管理者として管理して、総延長ですと6,000キロ程度を、全体を名古屋市として管理している状況でござひまして、その中で、限られた予算と人員の中で一生懸命やらせていただいておりますので、行き届かない点につきましては、個々の土木事務所に個別に対応ということもできますので、随時ご相談もさせていただきながら進めていきたいと思っております。いただいたご意見はしっかり当局にも伝えたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

【市長】

- ・これは本当に、ちょっと前だと減税しとるでいかんとかよ。何遍も言ひますけど、減税100億は、年間ですけど、今増収300億以上になってますから逆なんです、これは。

【フロア】

- ・質問したい。
- ・何で予算があんなに削減されてるんですか。平成19年から道路管理費は半分ですよ。

【市長】

- ・それは日本標準です。

【フロア】

- ・日本標準じゃないです。

【市長】

- ・日本標準で大体少ななってとるんです。
- ・それはええけど、確かにもっと、大名古屋とするとまっとやっぱりいろんなとこがね、きれいな花が咲いとるということができるんでないかと、これは思いますよ私、本当に。だで、ちょっとせっかくご指摘ありましたんで。
- ・一方、きれいなのは栄から東新町までね、特に南側のほうは、カレーの CoCo 壺の社長が自分で植えてござるわね、あれ。黄色い花が多いけど。そういうこともできんことにはやあとということでございますので、まっとできることはわしはあります、これは実は。僕もそう思っとるし、やりましようやということですよ、名古屋だでね。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございます。
- ・すみません。第3ラウンドで全体のご質問をいただきますので、そのときぜひ一度。
- ・皆さんにルールを守っていただいているので、ごめんなさい。お一人だけ個別でというのはちょっとご勘弁いただけると。

【フロア】

- ・いいじゃん。簡単なこと。
- ・コンテナはなぜ復活させないのかということをお聞きしたい、ごみの。

【コーディネーター】

- ・どうでしょうか、第3ラウンドのところでご回答いただきますか。よろしいですか。ご回答しないということではございませんので。ほかの方は全員ルールを守っていただいているので、また後でその件ご回答いただくということでもよろしいでしょうか。あるいは、今お答えいただけますか。
- ・お答えいただけるそうです。

【区長】

- ・コンテナというのは、コンテナボックスというマンションとかに置く鉄の箱ですよ。あれを、ごみの非常事態でごみの分別を徹底しようということで、ごみの指定袋で中身の見えるごみ袋に変えました。そのコンテナボックスが残っていると、中に入れちゃうと中身が見えないものですから、コンテナボックスは廃止して、指定袋で出してもらうということで変えています。

【フロア】

- ・なんだけど、今一部使ってるところがあって、そこはカラス来ないんです。コンテナ自体を分別してる、マンション単位で。

【区長】

- ・コンテナがあれば確かにカラスは来れないです。今は、コンテナボックスではなくて、中身が見えるようにマンションに扉をつくって、カラスが入れないように。そういうこ

とをやってもらっているマンションもあろうかと思えますけれども。

【フロア】

- ・中身が見えるボックスもある。

【区長】

- ・中身が見えるボックスがある。それは、プラスチックか何かですか。
- ・その辺が、担当が環境局というところになりますので、私がどうのこうのなかなか言えないものですから、またその辺もお伝えしたいと思います。

【コーディネーター】

- ・申しわけありません。せかしてしまいました。
- ・それでは、残りのテーマがまだございますので。
- ・お手元の資料ですと、都市像 5「魅力と活力にあふれ、世界から人や企業をひきつける、開かれたまち」というテーマで、産業とか観光、あるいはスポーツ、そういったところを含めたテーマでございます。それから、最後は総合計画全般にかかわるお話でも結構でございますので、ぜひご遠慮なくご発言いただこうと思います。
- ・それでは、またご意見、ご発言ある方は挙手をお願いいたします。ぜひ新しい方も遠慮なくご発言ください。
- ・こちらの方、お願いいたします。マイクをお持ちいたします。

【8人目（中区）】

- ・さっきのところで発言をしたかったですけれども、終わってしまったので、ちょっとすみませんが。
- ・中心を流れています新堀川、一昨年、それから今年度予算がつけられまして、今へドロのしゅんせつ工事が進められております。本当にありがとうございます。
- ・非常に期待をしているんですけれども、ただへドロを除去しただけでは、きれいになっていくというわけではありませんので、将来にわたって総合的にきちんときれいになっていくような、やっぱり長期にわたっての計画をぜひお願いしたい。
- ・現在、カモが飛来してきております。そうすると、橋からそういうのを眺めているだけでも癒しになりますので、やっぱり生き物と自然との調和を進めていく上でとても重要なと思います。
- ・先ほど市長さんが言ったように、いろんなところで花が植えられているといいなということですが、やっぱり新堀川沿いのところにも花とか木とか、桜なんか植えていただくと観光としてもとてもいいのではないかなと思いますので、そういう点でも環境と調和がとれた、やはり長期的なまちづくりでぜひ新堀川の件を活用していただきたいなと思います。
- ・もう1つ、コミセンの問題ですけれども、私どもも自主グループで大須のコミセンを使わせていただいているんですね。ありがたいんですけど、ただ値段が高いんです。自主グループで、やっぱり高齢者だとなかなか、費用がそんなに出せるものではないんです

ね、先生を呼んでやろうと思うと。それぞれの各地域で運用されているということですが、やはり文化活動を推進していくという観点からも、何かコミセンに対しての援助だとか、いろいろな方法でもう少し利用料金ができるようにしていただきたいなど。

- ・高くなりますとそこは使えなくなってしまうんですね。そうすると、今は女性会館が一番安いものですから、そちらのほうへ行かざるを得ない、もしくはやめざるを得ないということになってしまいますので、市民が気軽に活用できるような料金設定になるように、何か方法も考えていただきたいなと思います。

【コーディネーター】

- ・使われているのは、大須コミセンですね。

【8人目】

- ・はい、そうです。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございます。
- ・新堀川とコミセンの料金の話ですね、2ついただきました。
- ・次の方、いかがでしょうか。
- ・ほかにいらっしゃらなければ。三たび、お願いいたします。

【1人目】

- ・三たびの登場で申しわけございません。機会を与えていただきまして、ありがとうございます。
- ・5番目の問題について、名古屋というまちそのものをどう全国へ発信するのか。残念ながら今、河村市長の独特のキャラクターで、名古屋弁でテレビにお出になるぐらいですよ、名古屋らしいというのはね。
- ・むしろそうではなくて、そのことも大事かもしれませんが、例えば名古屋ならではの時代に合った商品を開発する、そのためにそういう開発する企業さんに助成金をつけるとか。伝統的に名古屋というのはきしめんかみみたいなことではなくて、やはりもう少し時代に合ったもの。例えば名古屋には、鳴海には絞りがあったり。市長もたまにテレビに出るときには絞りのシャツを着ておられたりしますけれども、絞りをもっとアピールするとか。それから、名古屋独特のそういう商品、着るもの、使うもの、文房具でもいいですよ、そういうものをやはり営業者さんに開発してもらって、そのための開発の研究会を設けるとか、あるいはそういうところに助成金をつけるとか。
- ・名古屋に行かないと買えないね、名古屋らしい商品だよ。例えば名古屋城をモチーフにしたお菓子でも何でもいいですよ、そんなものをやはり名古屋として開発すると。それが JR 東海さんの新幹線の中で売っているよとか、そんなこともやはり発想として考えてみてもいいんじゃないでしょうかと思います。それが名古屋の地場産業の掘り起こしになるのかなという気がします。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございます。
- ・名古屋といえばという、そういうところの開発を応援していったらどうかというお話だったのでしょうか。
- ・もう何名か。
- ・お願いいたします。マイクをお持ちしますので。

【9人目（北区）】

- ・私は、この総合計画、そもそも信じていません。今まで名古屋というのは、こういう文面化した書類を何度も反故にしています。約束を守られていません。だから今回も、まじめに考えても無駄だと考えています。つい最近も、名古屋城跡保存活用計画のパブリックコメントを出しましたが、そのパブリックコメントの集計をたった1カ月で消していますよね。そもそも保存活用計画は、パブリックコメントを募集した後に書き変えているじゃないですか。そして文化庁に提出している。完全にパブリックコメントは無視されています。
- ・こういった法令の無視、条例の無視は、例えば名古屋市議会基本条例第4条の4項、議会報告会の開催。議会のたびに議会報告会を開催して、各区で住民が集まって当局や議会と話し合う場を設けると条例で約束しているにもかかわらず、予算をつけていない、開催していない、義務を果たしていない。こういう機会がないので住民と当局の間のこういう意見交換も少ない。こういった条例違反をいつまで続けるんですか。
- ・ほかにもいろいろと言いたいことは山ほどありますが、とりあえず議会報告会の開催を条例に基づいて行うよう、予算をつけるように要請します。

【コーディネーター】

- ・端的にご発言いただきまして、ありがとうございます。
- ・そのほかの方、いかがでしょうか。
- ・お願いいたします。

【3人目】

- ・以前テレビで、市長さんが池上彰さんに、名古屋はどうして発展がこういうふうなのかと。こういうふうというか、皆さんが住みたくないとかいろんなワーストがありますよね、なぜワーストなのかということを知れば、その1つが、自慢の道路が広過ぎるということをおっしゃるんですね。大須から北の栄のほうに渡ってくる若宮大通がすごく広くて、私の足では信号1個待って渡るぐらいの感じなんですけど、あそこの中央区分帯のところもすごく広くて、何かもったいないような。空は広いですが、とてももったいないような気もするし。
- ・池上さんがそういうことを、細かいことはおっしゃいませんでしたが、道路が広過ぎるからワーストの中に入るんじゃないかということ。私もあまり詳しいことは言えないですけど、それはあまりにも大きな問題かなと思って。言葉だけで多分実行されるのは難しいと思うんですが、そのときに市長さんも「自慢の道路だぎゃ」っておっしゃって

たんですが、それはもうそれでおしまいなのかなと思ったりしたんですが。

- ・私は、名古屋は本当に住みやすいところで、外の方からも住みに来ていただいて、何とかして名古屋が自慢できるところになってほしいなと思うんですね。皆さん、中央に行った方が、一部の方かもしれませんが、実家が名古屋ということをしごく言いづらいという方もいらっしゃるんです。中に自慢なことはあまり聞かなくて、「あなた実家どこ」と言うと「んー」と口ごもるのは名古屋の人が多いうふうで。そうばかりではないかもしれませんが、いろんな意味ですばらしい名古屋に本当にしてほしいなと思っています。
- ・以上です。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございます。
- ・それでは予定の時間が、大体目安の時間が来ておりますので、一旦ここで区切らせていただきます。
- ・8人目の方からは新堀川の話、1人目の方からは特産品開発の話がありましたかね。9人目の方からは議会報告会の開催について、最後、3人目の方からは広過ぎる道路をもっと魅力的にしたらどうかというご提案かもしれません。そんなところを市長ぜひご回答いただければと思います。

【市長】

- ・ありがとうございます。
- ・まず、新堀川だけど、本当にもったいないわね、これ。だで、あとをどうするかということ。堀川でもそうなんだけど、ヘドロをとるとええんだけど護岸が崩れてくる言っとるんですわ。本当かどうか、ほんとか言っとるんだけど。新堀川はコンクリートになっとりますんでその心配はないし。あんだけの財産だでね、これ。どうやってもってくかいうのは、一遍やってもええんじゃないですか、これ本当に。みんなでちょっとええアイデアを考えまいかというふうに。わし昔、世界最大の釣り堀つくったらどうだ言っとったことあるけど、例えばね。そういう話で。やります。
- ・大須のコミセンが高いかどうかと、これは区長だろ。後で。

【区長】

- ・答えます。

【市長】

- ・大須だけが高いというの、あんまりそう思えんけどね。

【区長】

- ・各学区で考えていますので。

【市長】

・学区でかね。そうすると違うんかな、これ。

【コーディネーター】

・その辺の実態もまた後で。

【市長】

- ・1人目の方が、名古屋言葉でおもしろするのはええことだけれども、企業で。それええアイデアだね、これ。名古屋市役所でいろいろ考えるようにしとるんですわ。だで、反対に企業に何ぞ商品つくってもらって、名古屋の商品を。その場合インセンティブをつけると、ちゃんとですね、これ。これは意外とええ話だと思いました。意外と抜け落ちとった視点ですね、これ。早速検討いうか、これ採用したいなと思っております。
- ・9人目の方の話ですけど、議会報告会については、予算。どういうことかいうと、議会報告会をやる場合は、共産党の方やらですねみんな公平にやらなかんです、皆さんの税金使いますから。税金使う、金というのは、議会の報告については、例えば政務活動費でやれば別にできるんです。そのかわり、党とか会派が中心になると。

【9人目】

・法律違反です。

【市長】

・別にそういうのはありません。政治活動ですから。

【9人目】

・条例には議会だって書いてます。

【市長】

・いや、それはだから、そのかわり完全に公平にやって。

【9人目】

・憲法には、議会の開催義務は地方自治体にあるんですから。

【市長】

- ・いや、ちゃんと公平にやらなきゃだめだよって言っとる。
- ・この間一遍やられましたけど、私テープ聞いたけど、どうしてもそうならんのですわ、どうしても。そういうことはちょっとまずいわなど。完全に公平にやるんだったら、実は議会を開催すりゃいいんですよ、こういうとこで。議会は議事堂でないといかんというルールはありませんので、そういうやり方はどうかなということをやっとりまして。それじゃ衆議院の報告会というのは、これありません、日本中に。参議院の報告会もありません。何がやっとるかいったら、政党が自分とこでやる。ないし個人がやる。そのほうがいいです。

- ・議会の中ではこれ正直に言った人がありましたけど、議会報告会で皆さんが誰か手を挙げて、消費税が今度上がるけれども、これについて意見を問いますといった場合は答えられませんかと答えないかん、その場合は、議会でないですから。議会ではそういうことをやりませんので。となると、せっかく来てもらった人にそういうことって申しわけないんじゃないのかと。それより、政党ないし政党交付金でみんな出てきてやりゃいいじゃないかと、その分お金出してますからね、ちゃんと皆さんは。というふうに僕は言っとるんです。
- ・本当に公平にやるんだったらどうぞと。だけどできません、それは。どうしても政党の討論会みたいになるんです。議会報告会って、本当に公平にやるんだったら議事録をずーっと読み続けられないかんですわ、これを。だけど、そんなことでは意味がないでしょと言っとる。

【9人目】

- ・論点をずらしちゃかんでしょ、それは。

【市長】

- ・別に論点はずらしとりませんけど。

【9人目】

- ・じゃ、何であなたあの条例を、あなたが発効したんだ。

【市長】

- ・いや、やってもいいですよ。そのかわり公平。

【9人目】

- ・あなたがつくった条例じゃないか。

【市長】

- ・公平にやるならいいですよ。

【9人目】

- ・自分がつくった条例が、議会が議会報告会を開催って書いてあるんだから。

【市民】

- ・そのかわりお金についたり、それから、お金なしでも。区役所の職員が机を出したりするんですわ。

【9人目】

- ・あなたが言ったことじゃないの。

【市長】

- ・いや、公平にやればいいんです。

【コーディネーター】

- ・すみません、9人目の方。
- ・多分ここで、一問一答になってしまっているのですが、ちょっとこれまたすみません、終わった後に個別にやっていただくということでもよろしいでしょうか。

【9人目】

- ・待つか、ここで。

【市長】

- ・ご無礼しますわ。申しわけございませんが。

【9人目】

- ・そういうふうに議論を逃げるだろ。

【市長】

- ・逃げたことはありません、わしは。

【9人目】

- ・何言ってるんだよ、逃げてるじゃないか。

【コーディネーター】

- ・すみません。市長、次のテーマに進んでいただいてよろしいでしょうか。ほかの方のご回答もありますので。

【市長】

- ・3人目の方のテーマですけど、池上さんの道路が広過ぎるというお話ですけど、これどっちがどうやってしゃべったかわからんけど、実は50メートル道路、100メートル道路というのは、100メートル道路ってあんまりないですけど、東京なら外堀通りとか大阪なら御堂筋とか広い道路あるんです。名古屋の大問題は、一步入ったとこの道が、戦災復興事業といいますけど、そこでお墓を全部平和公園に移したんですわ、これ。18万9,000基です、これ。東京3,000、大阪2,000、名古屋は18万9,000。だから、路地をわざと潰したんです、これ。
- ・これ、名古屋学院大学の先生が言ってもええよと言ってますから言ってますけど、名古屋のまちは消毒都市だと、英語で言うとサニタライズド・シティーとかね、結局。戦後の戦災復興事業の中で、お墓の移転によって8メートル以下の道路はつukらないということで、今でこそ路地というのは非常に魅力のあるところですけど。夜のテレビなんか見るとね外国の、昨日もやっと思ったけど、世界入りにくい居酒屋とか何とかってあるんで

すけど、ああいうのはほとんど路地です。だけど、名古屋は路地を消滅させたということなんです、これ。だから、そうなるとうこうなりますわね、そりゃ。

- 世界の行きたい街角や何かで、桜通りや 100 メーター道路の横で酒飲んどるようなのは、そんなテレビは出てきませんから、これ。そこに大変な苦悩がありますね、僕もこれ。どうするんだと、これ。路地をなくしちゃったけど。だけど、当局に言わせると、お墓の移転で土地をつくったもんで減歩率というのが低くなって都市計画が進んだと言いますけど、まあねってところが大問題です、これ実は。
- 名古屋を自慢できるようにというのは、まさに僕の言いたいことというか、皆さんと共有したいことですね、これ本当に。経済力では、言っときますけど、圧倒的に日本一ですよ、名古屋は。財政危機っていうのはうそ、あれは。税金を上納しとるでわからんのだけど、皆さんの払っとる税金の 7 割は実は名古屋で使っていないです、これ。上納率日本一名古屋、日本第 2 位が川崎ぐらいで 62、63%、これ。ただし、それはあんまり言うのもなんですけど、某世界一の自動車会社のおかげが半分ぐらいありますけどね。経済力ではそうです。だけど、やっぱり経済力も非常に重要で。だから、福祉も日本一だと僕は思っています。日本一税金が安くて、日本一の福祉を届けると、名古屋はね。そう思ってますけど。
- まあ一つ何かね、平たいこと言うと、どえりゃあおもしろい名古屋、無味乾燥な言葉でいうと文化・芸術というところで、やっぱり名古屋に住んどって楽しいなというふうに見えるようなのをつくりたいわね。世界に自慢したいと、名古屋のまちをとということになると。
- わしが明日 70 になりますけど、毎晩寝ずに飲みながら考えたところは、その第一歩ですけど、名古屋城の天守の木造化というのは第一歩ですけど。やっぱり心の中に世界に自慢できるものがないといかんもん。ニューヨークだったら自由の女神あるでしょ、パリだったら凱旋門あるでしょ、イギリスだったらビッグベンがあるじゃないですか。そういうのは名古屋は実はあるんですよ、これ図面があるから。まずそこをスタートとして。同じ気持ちです、みんなで自慢のできる名古屋をつくろまいということは。ぜひ具体的に何かええ話があったら持ってきてちょという気持ちでございます。

【コーディネーター】

- ありがとうございます。
- 区長、コミセンの話。

【区長】

- 最初に、栄学区の準コミセンですが、先ほどナディアパークの 1 階と説明しましたがけれども、地下 1 階でしたので。会場内からご指摘もらいましたので、すみません、訂正します。
- コミセンの料金ですけれども、コミセンは名古屋市が建設をして学区に運営を委託しています。運営の委託料も出しているんですが、それでも足りないものですから、利用者から料金を徴収して、その料金でもって電気代とか人件費を出しています。学区によって料金設定をやっているはずですよ。学区内と学区外で料金を分けているコミセンもある

と思うんですね。そういうことを学区の自主的な考え方でやってみえる。

- ・ただ、市からの委託料が足りないから料金を高目に設定するという場合もあろうかと思っておりますので、そういう声を関係局に伝えてまいりたいと思っております。

【企画調整監】

- ・都市魅力の向上につきましてご意見をいただきまして、ありがとうございました。
- ・実は次の計画の中でも、市長も熱く語っていただきましたけれども、どうやったら名古屋の都市魅力をアップさせるかというのは、やっぱり最大の課題の1つだと言っても過言ではないと思っております。
- ・それは、この前も新聞に出ましたけど、都市特性評価で一番いいのが京都だと、次が福岡、大阪、名古屋。いろいろな数字を見ても絶対に福岡に名古屋が負けているはずはないわけですが、どうしても都市のイメージ戦略で福岡に負けるといったことがありますので、やはり市長申し上げましたように1つ1つ個々に魅力をアップすると同時に、私ども名古屋市役所も努力いたしますけれども、市民の皆様と協力して、やっぱり名古屋をもう少し自信を持って売り出していくといったことを市民の皆様と共有して、お願いできればなと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございます。
- ・それでは、ここの質疑応答、意見交換の時間は一応予定の時間がちょうど来ておりますので、一旦このあたりで区切らせていただこうと思っております。
- ・私の進行があまりよろしくなくて、限られた時間の中で発言し切れなかったところも多々あったかと思っておりますが、お手元にアンケート用紙と意見をお書きいただく用紙も、2種類ご準備しております。なかなか発言はしづらいけれども、こういうことを伝えたいということがありましたら、ぜひそちらにお書きいただければ、こちらにきちっとその記録が伝わりますので、ぜひお願ひしたいと思っております。
- ・それでは、最後になりますが、区長、市長から順番に一言ずついただこうと思っております。よろしくお願ひいたします。

【区長】

- ・多様なご意見をいろんな面で頂戴しました。これを反映する方向で頑張ったいと思っております。
- ・1点、中区は外国人がとても増えています。区の人口の10%以上が外国人となっていて、ある学区では20%以上が外国人となっています。国がちょうど来年4月から外国人の在留資格の変更をしようとしていて、この10%おみえになる外国人の方が今後どんどん増えていくだろうと、この計画期間中もどんどん外国人が増えていくということで、多文化共生というのを中区では中心に据えてこれから区政を運営してまいりたいと思っております。
- ・どうもありがとうございました。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございます。
- ・市長、お願いいたします。

【市長】

- ・ありがとうございました。
- ・名古屋を自慢できるまちにと、これは本当に、わしも 70 だで、これ何とか成し遂げて
ってね、皆さんと一緒に。だけど、よういって、皆さん外国人の方が感動するのは、
外国人と話ししとりますと、名古屋ってラッキーシティーだと結構言うんですわ、ラッ
キーだ、幸運なまちだと。何でかいうと、やっぱりトヨタ自動車があるもので、どえら
い経済力なんです。だけどそれは、トヨタの皆さんありがたいけど、実は違うよ言って。
空襲でここら辺なんかも全部焼野原ですわ、名古屋の空襲ってすごかったんです。零戦
をつくったことでもありね。だから、地獄を見たんですよ、名古屋というのは一旦。
名古屋城も燃えちゃったじゃないですか。だから、そういうところから皆さんの、僕ら
の世代じゃないけど、僕らの死んだおやじやおふくろの世代あたりがものすごい働いて、
トヨタのおかげもありますけど、ナゴヤ・イズ・ア・シティ・オブ・ドリームだと、夢
のまちだと、これは。
- ・だから、一旦地獄を見たまちが今や日本一稼げるまち、福祉も日本一だと僕は思っ
けどね。そういうまちになったんだと言うと、なるほど言って、そうだったのかって。
大体会合の後でミスター河村いって話しかけてきますが、そういうことだったのかとい
うことでございますので。そこはソフトというか心の問題ですけど、そういうまちをつ
くっていききたいと思っておりますんで、またいろいろやりましようということでござい
ます。
- ・サンキューベリーマッチ。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございました。
- ・一応進行役からも何か一言感想を言えと言われていまして。
- ・感想ではありませんが、今日お集まりの皆様、やはりいろんなテーマなり、いろん
なところに関心をお持ちの方がお集まりだと思うんですね。このお集まりの中には地域の担
い手の方が大勢今日いらっしゃると思います。そういった方が、今回お示ししたのは総
合計画の中間案でございますので、引き続きこの総合計画がどういう形で形になってい
くのかというところを、ぜひこの後も関心を持って見守っていただきたいと思いま
す。
- ・その上で、やはり今区民会議とか、もう 1 つ若者の会議も実はこれとは別にやってお
りまして、いろんな対話の場をつくっております。ただ、どうしても対話の場が少ない
というお話も今日ちょっとありましたので、やはりこれから皆さんに関心を持ち続け
ていただくためにいろんな場で、小さい場であったり大きい場であったり、こうやって皆
さんと意見交換する場を丁寧につくっていくことがこれからの総合計画づくりのプロ
セスで大事なところかなということ、今日お聞きしながら改めて感じたところでござ
います。

- ・本日は金曜日、ゆっくりお家でお休みしたいところだったかもしれませんが、この会場に足をお運びいただきましてまことにありがとうございました。

(以上)